

茅ヶ崎海岸グランドプラン まちづくりの理念の検討 (2006. 6. 10 推進会議)

推進会議からの提案

- (岩本委員)
- ◇基本コンセプト
 - 本来の茅ヶ崎の魅力を復興
 - ◇まちづくりの理念
 - [自然環境再生・景観の修復]
 - 広い砂浜、浜の生態系、植生
 - [ふれ合う、安らぐ、楽しむ]
 - 様々なマリレジャー、浜でのイベント、ユニバーサルデザインのアメニティ
 - [地域文化の伝承]
 - 漁業、祭り、湘南サウンド
- (益永委員)
- ◇まちづくりの理念
 - みんなの共有財産である海浜を誰にも優しい安らぎの場として守り、育て、再生する。
 - ◇茅ヶ崎海岸の将来像
 - ◆市民の庭
 - ◆自然・景観の継承
 - ◆ユニバーサルデザインと環境の共生
 - ◆アメニティと魅力づくり
 - ◆海と空のミュージアム
- (高橋委員)
- ◇理念
 - 茅ヶ崎海岸の自然を取り戻し、その恵を引き出す！
 - ◇コンセプト
 - 茅ヶ崎市民とそこを訪れる人たちのために、茅ヶ崎海岸のすばらしい自然を提供すること
- (片岡委員)
- ◇エコソフィアちがさき
 - 「自然と人間のつながり」「人間と人間のつながり」を市民一人ひとりが考え、実行しているこうという思いが込められた言葉。
 - [エコソフィア]
 - 「人間の知恵の集まる場所」としてこの言葉を茅ヶ崎開発（グランドプラン）の基底におく。

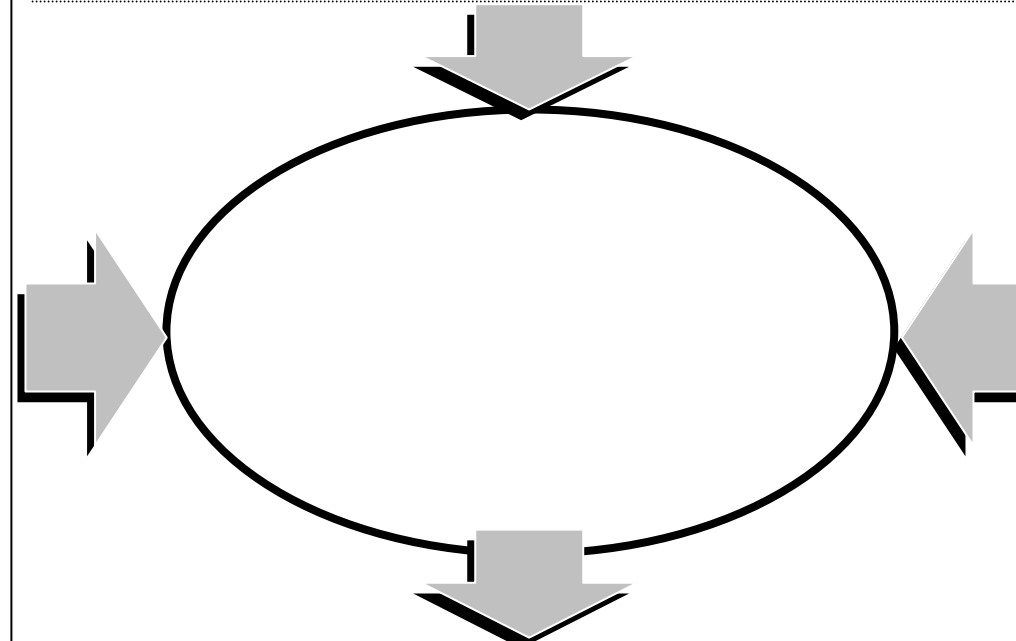
まちづくりの理念

《これまでの推進協議会の意見》

景観	◇市民の誇りとなる海辺の景観づくり
人にやさしい	◇海辺のユニバーサルデザイン化
交流	◇ウッドデッキであらゆる世代が交流
まちの特性のアピール	◇茅ヶ崎の特性・魅力を発揮 ◇茅ヶ崎の文化の発信・創造 ◇何もない砂浜がキャンパス
環境保全・保安	◇自然・生態系の保全活用 ◇海岸の保全・保安 ◇生態系の回復
共生	◇交通、緑化、ごみ等を含めた環境共生
活性化	◇茅ヶ崎ブランドを生み出す新産業の創出 ◇産業の振興 ◇自転車による回遊
運営	◇市民が主体であるエリアマネジメント ◇事業性との整合性

《これまでの案》

- ①アートフルな市民の庭—ほのぼのとした殺風景な茅ヶ崎海岸の創造
- ②アートフルな市民の庭—人と自然がふれあう交流の場。茅ヶ崎海岸の創造



茅ヶ崎海岸の将来像 (案)

- a) 市民の庭
- b) 自然環境・景観の継承
- c) ユニバーサルデザインと環境との共生
- d) 産業起しとアメニティ
- e) 空と海のミュージアム

※考え方・方向性については概ね了承済み。
表現などについて、必要な修正を加える。

まちづくり協議会意見のまとめ (案)

反映	意見
《自然・景観保全》	
	何もない海岸
	自然のまま
	自然を生かしたシンプルな海岸
	天然の渚、丹沢・箱根の見える風景の保全
	相模湾の中心にふさわしい景観の形成
《拠点形成型》	
	従来型ではない産業の発展を目指す
	景観を守りつつ、景観・商業の拠点の形成
	市内を回遊する拠点の形成
《ある程度の開発を許容する中での建築物への制限》	
	低層建築物（3F以下）
	旧フィッシュセンターの高さ程度
《建物イメージ》	
	富士と海の景観にマッチした建物
	通年海が楽しめる施設
	全天候型で海やえぼし岩、富士山を望めるグランドビュー（癒しの空間）
	食事などができる（レストラン）
《施設・海岸の整備等》	
	ウッドデッキの整備
	フードコート整備
	バリアフリーな海岸
	動物のふれあいの場となる動物公園、ドッグラン
	茅ヶ崎を売り込める野外ステージ
	レクリエーションやビーチスポーツの拠点となる施設
《漁港について》	
	漁港は無い方がよい
	観光漁業であれば漁港がある必要はない
	遊覧船の運航

◎：まちづくりの理念にそのまま反映した意見
○：まちづくりの理念に考え方等が反映されている意見
△：まちづくりの理念に反映できなかった意見